

■上川管内の状況及び学力向上策（小学校数：109校、児童数：3281人）（中学校数：60校、生徒数：3164人）

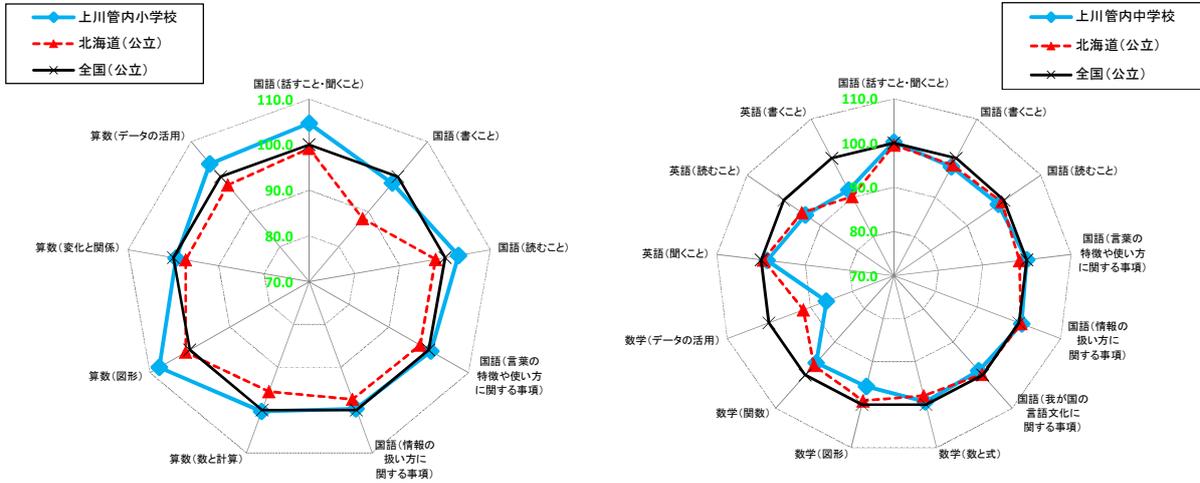
【教科全体の状況】

平均正答率	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学	中学校英語
上川管内	69[68.5]	64[63.9]	69[69.3]	49[48.7]	44[43.7]
全国	67[67.2]	63[62.5]	70[69.8]	51[51.0]	46[45.6]

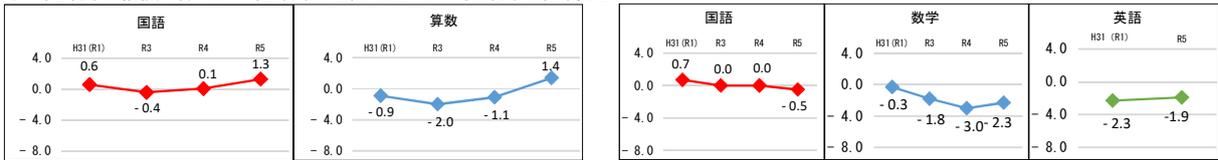
小学校

中学校

【レーダーチャート】教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況(管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



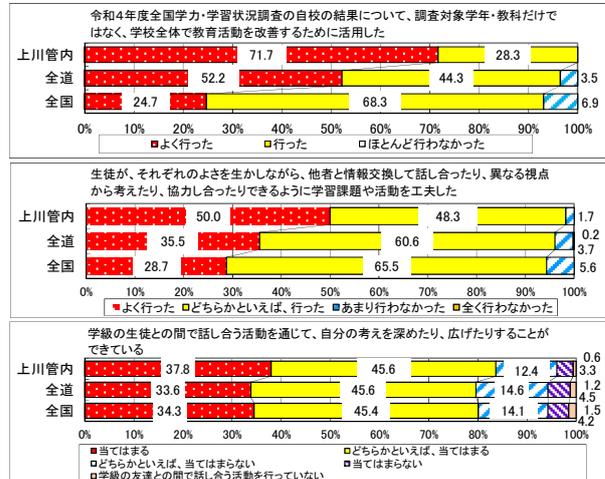
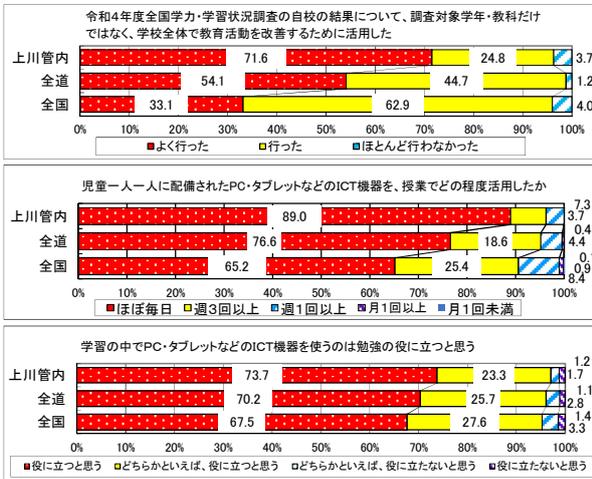
【平均正答率の推移】管内の平均正答率－全国(公立)の平均正答率の経年変化



【質問紙の状況】

小学校

中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

中学校

管内の多くの小学校において、令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用したことにより、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が促進され、全ての教科で全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

局独自事業「上川プロジェクトIPPO」など、ICT活用に関する研修に取り組んだことにより、授業における効果的な端末の活用が促進され、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと回答した児童の割合が全国及び全国を上回ったと考えられる。

管内の多くの中学校において、令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用したことにより、数学及び英語の授業改善が図られ、数学及び英語の平均正答率の全国との差が、前回調査と比べて小さくなったと考えられる。

各種研修会や校内研修等において、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する研修に取り組んだことにより、管内の多くの中学校で対話的な活動の充実が図られ、学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【上川管内の学力向上策】については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

上川管内における学力向上の取組

1. 管内教育の重点(学力)

- 教育課程の検証改善サイクルの充実
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ICTを活用した個別最適・協働的な学びの充実

2. 具体的な改善策

(1) 教育課程の検証改善サイクルの充実

- 「上川管内学力向上マスタープラン」を活用した、エビデンスに基づく児童生徒の資質・能力の育成に向けた取組の推進
- 学校経営訪問及び学校教育指導訪問における各校の取組状況の把握と指導助言

(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- 各市町村教育委員会等と連携した「エビデンスに基づく授業改革研修会」の実施
- 新しいかたちの学び授業力向上推進教員等を活用した授業改善に係る研修会の実施
- 初任段階層の教員を対象とした日常的な悩み等に対応する「フレッシュ教員指導力アップセミナー」の実施

(3) ICTを活用した個別最適・協働的な学びの充実

- 局独自事業「上川プロジェクトIPPO」におけるICT利活用に関するオンライン研修、オンデマンド研修の実施
- 「自主・自律的な学習習慣・生活習慣確立モデル事業」指定校へのサポート及び各種研修会等における成果普及

3. 令和5年度(2023年度)の取組

月	(1) 教育課程の検証改善サイクルの充実	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	(3) ICTを活用した個別最適・協働的な学びの充実
4	管内校長・教頭会議		
5	教育委員会訪問 学校経営指導訪問		自主・自律的な学習習慣・生活習慣確立モデル事業指定校サポート
6	第1回EBE協議会 学校経営指導訪問	第1回EBE協議会 学校教育指導訪問	IPPOミーティング(第1回)
7	状況把握	状況把握	
8	指導助言	指導助言	
9			
10		管内授業力向上セミナー (専科教員等対象)	
11		エビデンスに基づく 授業改革研修会	
12	第2回EBE協議会	フレッシュ教員指導力 アップセミナー	IPPOミーティング(第2回)
1			
2	「上川学びフォーカス」評価		IPPOミーティング(第3回)
3			